

町長コラム 温故創新



目指すは世界一 選ばれる花の産地に

庄内町長 富樫透

新年度、花のまちを一層PRするためにご結婚・ご出産されたみなさんなどにお花のプレゼントをする事業を始めました。美味しい料理を食べて怒る人がいないように、お花をもらって気分を害する人はいないと思います。ぜひとも、多くの方に利用してもらい「庄内町の花」の素晴らしさと品質の良さを実感していただければ幸いです。

トルコギキョウ、ストック、ダリアなどに加え、最近では「もつてのほか」だけではない食べられる花「エディブルフラワー」なども話題になっています。また、お風呂に入れて香りを楽しむなどと今までは違う利用の仕方もあるようです。少し前には、ビニールハウスでジャズと生け花のセッションのイベントを実施し、花のまちのPRを行いました。

残念ながら、お花だけではおなががいっぱいになるのは大変かもしれませんが、美しいものを見ながら素敵な香りに包まれて、ゆったりとした気分になることは、心の健康にとっては非常に良いことだといわれています。

普段の生活の中では、ゆっくりと花を愛でる時間を作ることは難しいかもしれませんが。しかし、仕事の効率アップも心の状態に比例するとの研究結果もありますので、時には、お花から元気をもらう時間がほしいものです。

3月には新しい地域おこし協力隊の着任もあり、高い技術力で庄内町の花の品質向上と選ばれる産地になるよう、お米に次ぐわが町の広告塔として「めざすは世界一」を合言葉にブランド化を図っていきます。

みなさんからも応援、PR、ご協力をどうぞよろしく願います。